

スマイル通信

Sato-Kazuko Smile report

2019年 新春号

〒982-0804 仙台市太白区鉤取2丁目1-3 TEL&FAX 022-245-7245

E-mail:sato@sendai-komei.jp URL http://www.sato-kazuko.net



あした
あなたの未来に笑顔と元気を!

一人の声を大切に! 100万人の笑顔のために!

この度、平成30年第4回定例会での一般質問や日頃の議員活動のご報告として「さとう和子スマイル通信新春号」を作成いたしました。ご一読いただければ幸いです。

近年、全国の多くの地域で自然災害が猛威を振るい、甚大な被害に見舞われており、今後、さらなる防災・減災の取り組みが重要であります。昨年12月に防災の知識を身につけ災害への自助意識の向上のために防災士の資格を取得しました。市民の皆様とともに災害への備えを考え、貢献できるよう活動してまいりたいと思います。

2019年1月吉日 仙台市議会議員 さとう和子

■市営住宅の風呂がまの交換事業が好評です!

平成26年度から、入居者が設置した風呂がまを15年以上使用している世帯を対象に募集を行い、抽選により交換設置をしています。3回目の応募でやっと交換となった入居者の方から、「快適な入浴になった」との喜びのお声が寄せられました。平成30年度は、募集戸数が3倍以上となり、今後も希望する入居者に整備できるように求めてまいります。



■「ヘルプマーク」の無料配布が実現しました!

昨年12月から宮城県と仙台市で、「ヘルプマーク」の配布が始まりました。「ヘルプマーク」とは、病気や障がいがあっても外見では分かりにくい方々が援助や配慮が必要なことを表すマークです。我が会派では長年、推進に取り組んできました。早速、区役所で受け取った障がい者の息子さんを持つお母さんから、「コミュニケーションが苦手な息子も、何か困った時に、周りの方から、優しく声をかけてもらえるだけで安心できる。私も配慮を必要としている、目の前の一人に、優しく声をかけ、お互いに笑顔になれるように心がけていきたい」と喜びのお声が寄せられました。



視察・活動

■交通政策調査特別委員会視察 公共交通政策・地域交通について

(10月25日~26日・北九州市・山口市)

■セイブ・ザ・チルドレン・ジャパン主催のシンポジウム「子どもに対する体罰等のない社会を目指して」参加

(10月27日・青葉区)

■平成30年度障害福祉サービス等報酬改定「放課後等デイサービス」の事業に係る勉強会参加

(10月29日・青葉区)

■「住み続けられるまちをつくる市民協働の公共交通」と題して、交通ジャーナリスト鈴木文彦氏との意見聴取

(10月31日・青葉区)

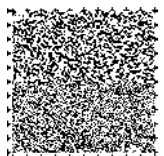
■西多賀市民センター及び西多賀児童館開館記念式参加(11月5日)



■東北大学公共政策大学院 市町村議会議員講座参加

(11月5日、7日~8日)

地方自治制度・条例の立案・居住支援制度の動向・人口減少社会に対応したまちづくりの在り方について



■「太白区まちづくりフォーラム」参加

(11月11日・太白区)

■20周年を迎えた世界最高峰の性能を持つ放射光科学研究センター(スプリング8)・災害対応・道路再編や公共空間活用による歩行者の回遊性向上とまちの賑わいづくりの取り組みについて視察

(11月12日~14日兵庫県・鳥取県・姫路市)

■指定都市行財政問題懇談会参加

(11月15日・衆議院第二議員会館)

■仙台・福島・山形市議会広域観光連携推進協議会平成30年度研究会参加

(11月16日・福島市)

■第51回宮城県市議会議長会議員研修会参加

(11月22日・名取市)

■2018仙台のタベ(株)オカムラ・官民連携の古民家再生事業を展開している千葉県香取市の視察

(11月29日~30日・東京都・香取市)

■平成30年度二ホンザル大規模追い上げ・捕獲視察

(12月7日・秋保町)

■仙台市中央卸売市場業務開始式

(1月5日)

■仙台市消防出初式

(1月6日・仙台市役所前・市民広場)平成29年11月に「仙台市指定無形民俗文化財」に指定された伝統階子乗りが披露されました。写真は地元紙に掲載された太白消防団階子乗り隊の見事な妙技です。



■平成31年度の仙台市予算及び制度改正に係る要望書を提出!

10月31日、公明党仙台市議団は郡仙台市長に、最重点要望である復興の推進、重点要望12分野にわたり、市政発展への更なる事業展開を求め要望しました。特に、いじめ対策は喫緊の課題であるとし、条例制定の対応、教育委員会等の対応、不登校対策、発達相談支援センター(アーチル)の充実を最重点要望として強く求めました。



■仙台市から岩隈久志投手に感謝状が贈られました!

11月27日、公益社団法人「子どもの発達科学研究所」と共同でいじめ防止の取り組みを全国で推進している岩隈久志投手の感謝状贈呈式が行われました。これは、同研究所の片山泰一理事長と連携して、いじめ問題に取り組んでいる我が会派が市に提案していたものです。翌日、泉区高森中学校で、岩隈久志投手が参加して、いじめ撲滅プロジェクトの授業「HEROになろう」が開催され視察しました。

